

実質化された人・農地プラン

市町村名	対象地区名(地区内集落名)	作成年月日	直近の更新年月日
島原市	杉谷地区(原・宇土・山寺)	令和4年1月13日	—

1 対象地区の現状

①地区内の耕地面積	234 ha
②アンケート調査等に回答した地区内の農地所有者又は耕作者の耕作面積の合計	127 ha
③地区内における70才以上の農業者の耕作面積の合計	92 ha
i うち後継者未定または不明の農業者の耕作面積の合計	89 ha
④地区内において今後中心経営体が引き受ける意向のある耕作面積の合計	34 ha
(備考)	

2 対象地区の課題

杉谷地区は、以前は樹園地主体の地域で、みかん栽培の主要地区となっていたが、価格の低迷や雲仙普賢岳噴火災害による樹体等への被害により、露地野菜への転換が進んでいる
圃場整備が進んでおらず、大型機械が入らない
中心経営体はいるが十分ではない

3 対象地区内における中心経営体への農地の集約化に関する方針

農地中間管理機構を活用し、担い手への集積・集約化を図る
担い手の分散錯圃を解消する
新規参入を促進して、新規参入者に集積・集約化する

4 3の方針を実現するために必要な取組に関する方針(任意記載事項)

担い手の分散錯圃を解消するため利用権を交換しようとする人は、原則として農地中間管理機構に貸し付ける
中心経営体のうち、野菜農家は外国人労働を取り入れ耕作地の規模を拡大し、農業経営の安定化を目指す
中心経営体のうち、酪農、肉牛、養豚、養鶏の畜産は、機械化や優良種の導入により安定経営を目指す
新規就農者については、補助事業等を活用し、経営開始に必要な機械・施設の整備を図る
今後も地域農業者による継続した話し合いにより、プランの変更を図る